

『伊勢物語』『芥川』（読解）

昔、^①男ありけり。女のえ得まじかりけるを、年を経て「よばひわたりけるを、からうじて盗み出でて、いと暗きに来けり。芥川といふ河を率て行きければ、草の上に置きたりける露を、「かれは何ぞ。」となむ男に問ひける。行く先多く、夜も更けにければ、^②鬼ある所とも知らず、^③神さへいといみじう鳴り、雨もいたう降りければ、^④あばらなる蔵に、女をば奥に押し入れて、男、弓・胡櫛を負ひて戸口にをり。^⑤はや夜も明けなむと思ひつつみたりけるに、^⑥鬼、はや一口に食ひてけり。「あなや。」と言ひけれど、神鳴るさわぎに、^⑦え聞かざりけり。やうやう夜も明けゆくに、見れば、率て来し女もなし。^⑧足すりをして泣けども、かひなし。

白玉か何ぞと人の問ひしとき露と答へて消えなましものを

問一 傍線部Ⅰ～Ⅲの単語の意味として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|----------|-------------|---------|-----------|-----------|--------|
| Ⅰ「よばふ」 | ア 呼ぶ | イ 這う | ウ 詠む | エ 求婚する | オ 別れる |
| Ⅱ「神」 | ア 神様 | イ 仏様 | ウ 雷 | エ 雪 | オ 雨 |
| Ⅲ「あばらなり」 | ア 荒れてがらんとした | イ ばらばらな | ウ ぐちゃぐちゃな | エ 骨が散らばった | オ ずさんな |

問二 傍線部①「男」とあるが、『伊勢物語』の大部分は誰をモデルとしたものか。適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 聖徳太子 イ 在原業平 ウ 菅原道真 エ 伴善男 オ 徳川家康

問三 傍線部②・③・⑤を現代語訳しなさい。

問四 傍線部④とあるが、鬼は何を食らったのか。漢字一字で答えなさい。

問五 傍線部⑥のときの男の心情として最も近いものを選び、記号で答えなさい。

- ア 腹立たいしい イ くやしい ウ 疑わしい エ 怪しい オ しんどい

問一	Ⅰ	()	Ⅱ	()	Ⅲ	()	問二	()
問三	②	()						()
	③	()						()
	⑤	()						()
問四	()	()						
問五	()	()						

問一 I (エ) II (ウ) III (ア) 問二 (イ)

問三 ② (鬼のいるところとも知らないで)

③ (早く夜も明けてほしい)

⑤ (聞くことができなかった)

問四 (女) ※「人」は間違い。男は食われていない。

問五 (イ)